

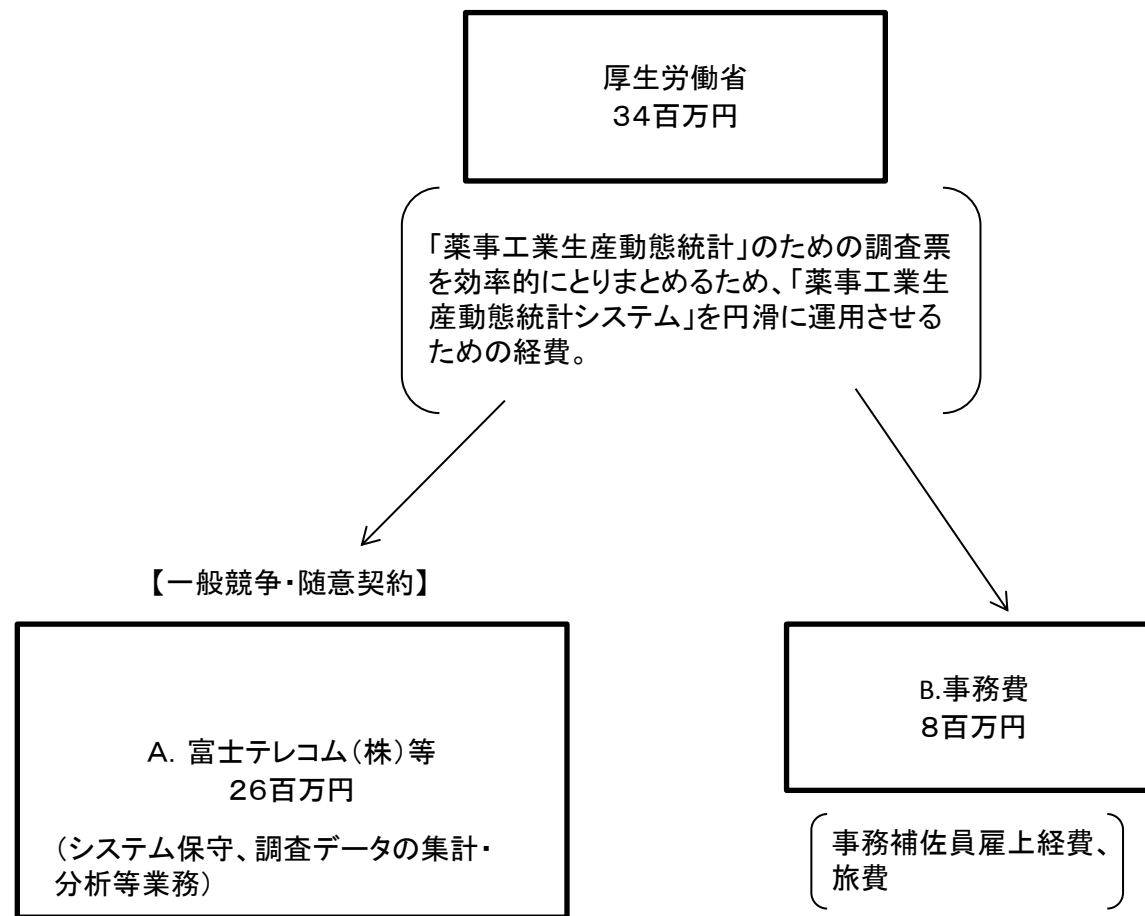
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	薬事工業生産動態統計システム経費		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度～		担当課室	経済課		課長:城 克文	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-8-1 新医薬品・医療機器の開発を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	薬事工業生産動態統計調査規則、統計法、統計法施行令		関係する計画、通知等	統計調査等業務の業務・システム最適化計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	統計法に基づく基幹統計調査として、医薬品、医薬部外品、衛生材料及び医療機器に関する毎月の生産(輸入)等の実態を明らかにする「薬事工業生産動態統計」を作成している。統計を効率的に作成するため、「薬事工業生産動態統計システム」を整備・運用することにより、迅速に統計表を公表することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「薬事工業生産動態統計」のための調査票を効率的にとりまとめるため、以下①～③で構成される「薬事工業生産動態統計システム」を円滑に運用させるための経費。 ①政府統計共同利用システムに対応した調査票を作成するための事業者用ソフトウェアの作成・運用支援業務 ②①で作成された管轄事業者の調査票をとりまとめるための都道府県担当者用ソフトウェアの作成・運用支援業務 ③厚生労働省用システムを使用し、全調査票データを取りまとめ、データベースの管理や統計表を作成するための業務						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	44	36	36	32	29
		補正予算					
		繰越し等					
	計	44	36	36	32	29	
	執行額	35	25	34			
執行率(%)	79.5%	69.4%	94.4%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	この事業は、省内各部局が実施している各種施策に必要な基礎資料を得ることを目的として実施するものであるため成果目標を設定していない。			—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	統計法に基づき年次・周期調査は1年以内の公表を目標とする。			活動実績(当初見込み)	平成23年2月8日公表 (22年度内)	平成23年11月8日公表 (23年度内)	平成24年8月21日公表 (24年度内)
			算出根拠	—			
単位当たりコスト	-						
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	0.2	0.2	システムサポート費等の積算見直しによる減			
	医薬品審査等業務庁費	32	29				
計	32.2	29.2					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	統計法に基づく基幹統計調査であり、厚生労働行政をはじめ各種施策の基礎資料を得ることを目的とするため、国が実施すべき事業である。また、経産省所管の鉱工業指数等に使用されるなど公共性は高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	統計法に基づく基幹統計調査であり、厚生労働行政をはじめ各種施策の基礎資料を得ることを目的とするため、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	統計法に基づく基幹統計調査であり、厚生労働行政をはじめ各種施策の基礎資料を得ることを目的とするため、国が実施すべき事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業の実施にあたっては、一般競争入札を実施するなど、競争性が確保されるよう取り組んでいる。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	必要最低限の費目・使途に限定した執行を行っているところ。		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みに見合ったものである。		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	調査データにおいては、施策の基礎資料、都道府県別の薬事統計作成や経産省所管の鉱工業指数等に使用され公共性の高い事業である。		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	-		
	-	-	-			
	-	-	-			
点検結果	統計体系の根幹となる基幹統計を作成するための調査として位置づけられ、医薬品、医薬部外品及び医療機器に関する生産の実態等を明らかにすることを目的として、毎月調査を実施している。薬事工業生産動態統計調査を例年実施、公表することにより、施策の基礎資料としての活用のほか、業界団体における調査研究等に利用されている。また、経済産業省所管の鉱工業指数や都道府県別の薬事統計作成用に調査データを提供している。統計データ処理業務やシステムサポート業務については、一般競争入札を行い競争性の確保をしている。					
外部有識者の所見						
執行率を勘案し予算額への反映が必要。(長崎、井出)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	薬事工業生産動態統計システム経費については、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	執行状況を踏まえ、システムサポート費等に係る経費を見直したことによる削減(反映額:約3百万)					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	235	平成23年	0210	平成24年	177

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.富士テレコム(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	システム機器保守、データ処理等	14			
計		14	計		0
B.事務費			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	事務補佐員雇上経費	7			
計		7	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士テレコム(株)	システム機器保守、データ処理等業務	14	3	72%
2	統計印刷工業(株)	薬事工業生産動態統計月報印刷	3	随意契約	
3	協新流通デベロッパー(株)	薬事工業生産動態統計における梱包・発送	2	随意契約	
4	インフォテック(株)	平成24年度薬事工業生産動態統計システムサポート業務	3	2	89%
5	(株)太陽美術	平成23年薬事工業生産動態統計年報印刷	2	随意契約	
6	大和総合印刷(株)	薬事工業生産動態統計調査票第一号様式等の印刷	2	随意契約	
7	(株)メディア総合研究所	翻訳業務	0	随意契約	
8	富士マイクロ(株)	薬事工業生産動態統計調査事業者システム CD-ROM製造	0	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人	事務補佐員雇上経費	7		
2	個人(複数)	出張旅費	1		